

脳性まひ

研究最前線

生後四週までの間に生じた脳の障害により、骨や筋肉などに異常を来す「脳性まひ」。ひとたび障害を受けた脳細胞が再生することはないが、リハビリと手術との併用により治療効果は高まりつつあるという。そこで今回は、整形外科の最前線をリードする瀬戸洋一氏に最新事情など聞いた。

四つのタイプに分類

「脳性まひの紹介を。」
 「瀬戸」 病型により、四つのタイプに分類できます。過度の筋緊張と手足の関節がこわばる「痙直（けいちよく）型」、不随意運動を伴う「アテトーゼ型」、これら両方の症状を認める「混合型」、小脳の障害による「失調型」です。
 それから、脳性まひは筋肉や骨だけでなく他の部分にも障害を合併します。てんかんを伴う症例の割合は、約三〇％。特に、精神発達遅滞を伴う例に多く合併します。ちなみに精神発達遅滞の合併例



瀬と・よういち
 ▽1955年8月18日生 ▽81年
 滋賀医科大学 医学部 医学博士
 科卒 ▽京都大学 医学部 整形外科 助手、滋賀県立心身障害児総合療育センター長、滋賀県立小児保健医療センター 整形外科 医長などを経て、97年より同センターリハビリテーション科 部長。

整形外科医の立場から脳疾患に挑戦 リハビリと手術でQOL向上へ

度以上でバランスが悪ければ手術の適応となります。人工骨の使用や内固定材料の改良が進んでいけば、手術時間も短縮されて患者さんの負担も

最後に一言。
 「瀬戸」 脳性まひにおける能力発揮の土台づくり

手術適応は 一〇―一五歳

治療法について。
 「瀬戸」 治療の根幹を成すのは、リハビリテーションです。脳の障害そのものは治せなくても個々に応じた発達が

障害が。また、悪化すると脊柱の変形により内臓が圧迫されるため、呼吸障害や栄養障害といった致命的な危険にさらされることとなります。この障害は重症の方に多く、器具による治療はかえって呼吸の状態を悪くすることがあり勧められません。従って、治療法は手術ということになります。最近「内固定材料」の利用や安全かつ操作性の良い手術器械の開発により、安定した手術成績が得られるようになってきました。姿勢の改善はもちろん、食欲の改善や風邪をひきにくくなるなど、消化器系や呼吸器系にも良い影響が見られます。ただし、脊柱が硬くなると矯正も困難になるため、手術の適応年齢は一〇―一五歳。彎曲が五〇

made in Japan のサーキュラー型創外固定器

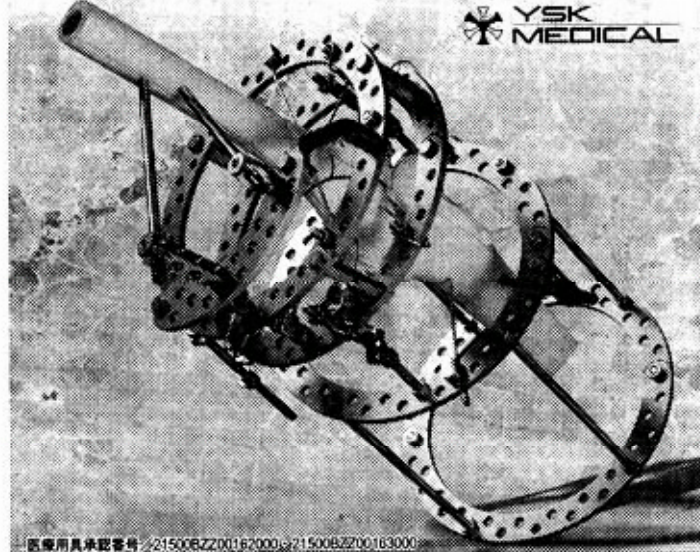
Millennium Circular Fixation

ミレニアム サーキュラー フィクション

次世代の骨折治療器

- 骨を延ばすことができます
- 骨の変形を治すことができます
- 交通事故等による外傷にも対応可能
- 競走馬の開放性骨折にも適応あり
- レンタルシステムもあります

適応例
 開放骨折/急性・慢性骨髓炎
 四肢の延長術/変形矯正術
 関節固定術/非常に不安定な閉鎖骨折/関節内骨折/多発骨折/骨切離術/内固定の補助
 形成外科的軟組織の再建



神戸医療産業都市構想・神戸市経営革新事業認定推薦会社
YSKメディカル
 〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目5-2神戸キックセンタービル9F
 TEL. (078) 306-0190 FAX. (078) 306-0195

医療用具承認番号: 21500BZZ00162000, 21500BZZ00163000